

第2回学校運営協議会 議事録

日 時：令和5年9月7日(木) 13:30～15:30

場 所：和歌山工業高等学校 大会議室

出席者

(学校運営協議会委員)

田中 一壽 氏 (和歌山商工会議所専務理事)

村田 頼信 氏 (和歌山大学システム工学部システム工学科教授)

梅田 千景 氏 (和島興産株式会社代表取締役)

田中 資則 氏 (元紀伊コスモス支援学校校長)

前田 隆一 氏 (本校全日制育友会会長)

高垣 晴夫 氏 (本校同窓会副会長)

西村 保展 氏 (本校同窓会副会長)

藤田 勝範 (本校校長)

(学校出席者)

阪中 潤 (全日制教頭) 木田 誠治 (定時制教頭) 岡本 邦敬 (事務長)

山田 泰彦 (定時制教務部長) 坂口 佳隆 (定時制進路指導部長) 岡本邦孝 (定時制生徒指導部長)

- 【1】 開会
- 【2】 会長挨拶
- 【3】 校長挨拶
- 【4】 議事 (議長：田中会長)

(1) 本校の教育活動について報告及び協議

藤田校長より、全日制と定時制で行った「生徒アンケート」について説明を行った。

説明の要旨は以下のとおり。

「IV 自分自身について」の項目は、キャリア教育における基礎的汎用能力の4つの観点を調査する質問となっており、②については、人間関係・社会形成能力、④は自己理解や自己管理能力、⑤は課題対応能力、⑥⑦⑧はキャリアプランニング能力、⑨⑩は人間力を問う項目となっている。

いずれもスクール・ポリシーのグラデュエーション・ポリシーにつながる項目となっている。

一昨年前に策定したスクール・ポリシーが、作って終わりとならないように、意識付けを図る目的もある。

今後、生徒自身が振り返りながら、これらの能力を身に付けられるようにしていきたい。

続いて、全日制阪中教頭と定時制木田教頭より、第1回学校運営協議会以降の本校の教育活動について報告を行った。報告内容については、以下のとおり。

阪中教頭より、今年度の中学生体験学習が夏休みから10月の土曜日に変更となったこと、コロナ禍では、1学科の体験であったものを、従来の2学科の体験に戻したことや、現時点での今年度の就職・進学状況についての説明を行った後、北海道インターハイで優勝を取めた競技の報告と、高校生ものづくりコンテスト「木材加工部門」で、これまでの最上位の成績を取めたことの報告を行ったのち、第1回学校運営協議会

でも広報活動を積極的に行った方が良いというご意見を頂いたことを受け、教育委員会の資料提供のシステムを活用して報道機関に学校の取組みをPRしたり、学校のホームページで積極的に情報を発信したりするように心がけているという報告があった。

木田定時制教頭より、本校の受検を考えている中学生の保護者の中には、依然として定時制課程にネガティブなイメージを抱いている者も見受けられるため、全日制以上に中学生及びその保護者に対する広報活動に注力する必要があること。そのため、全日制と同日に行う説明会以外に、別日に体験学習を実施することについて報告があった。また、本年度の生徒の就職状況や7月以降の定時制の取組について説明があった。

上記の報告を受け、委員からは以下のご意見を頂いた。

委員)

生徒アンケートについて、小学生ものづくり教室を経験したことが本校を選んだ理由となっている生徒の中で、それが最大の理由となっている生徒の割合が気になる。

建築関係を学びたいと考えている生徒が多い。

今後、どのようにしてアンケートの結果を生徒に返していくかの検討が必要である。

回答の変化や推移を見るためにも、継続してアンケートを実施してはどうか。

委員)

今後の生徒の意識変化など、推移を見ていきたい。

学校として、このアンケート結果をどう分析しているか。

阪中教頭) アンケートに生徒は、丁寧に答えてくれた。

「自分自身について」のアンケート結果では、良い評価を付けた生徒が多く、一定の力はついていると思っている生徒が多いと感じた。

木田教頭) アンケート結果を見ると、生徒は意図をもって入学してきていることが分かる。

今後の指導の参考としていきたい。

委員)

高校生として自己管理能力が大切であり、それに注目してアンケート結果を見た。

「IV 自分自身について」の項目は、自己理解を問うており、20%程度の生徒が低い評価を付けている点気になる。

委員)

定時制のアンケート結果で、修学旅行に行きたいという意見があり、自分自身が学生の時も先生にお願いをして実現したことを思いだし、できれば叶えてあげて欲しいと思う。生徒には、修学旅行に参加することは必ずプラスになると思う。

制服についての項目については、肯定的な意見がある反面、スカートが自転車に乗りにくいという意見や、カッターシャツがダサいという意見、価格が高いという意見が気になった。

制服については、産業デザイン科で生徒に制服のデザインをさせることもできるのではないか。

委員)

就職を希望する生徒が6割を超えており、地元和歌山に残りたいという希望が多いのは良かった。

カッターシャツについては、子供たちはあまり緑色のシャツを望んでいないようなので、今後考えるべきではないか。

委員)

県内へとどまることを選んでいる生徒は、自立ができていないのか、各家庭の経済的なことを心配しているのではないかと心配する。

本校を選んだ理由として「ものづくりが好きだから」を選んだ生徒が多かった。

委員)

アンケート結果から、大変ではあるかと思うが、制服について考える必要があるのではないかと感じた。定時制の修学旅行に行きたいという意見は、是非叶えてあげて欲しい。

全体を通じて、アンケートの生徒の回答が、非常にポジティブであると感じた。

どのような学科があれば良いかという質問で、自動車工学を選んだ生徒が多いと感じた。

「県内」を選ぶ選択肢に「自分の実力が試せる企業があるから」を入れておけば良かった。

生徒の皆さんは、本校に入学すれば資格が取れたり、希望の就職先が多いと思っていることがよく分かった。

委員)

学科を変えたいという希望を持っている生徒が、約 4 分の 1 あるようであるが、学科を変えることは、現時点で可能か？

阪中教頭) 現時点のシステムでは、転科はできない。

今後、入試をくくり募集にして、入学後に学科を選べるようにするなどを検討する際の参考としたい。

委員)

アンケート結果に対して、いろいろな意見を頂いた。私たちのような外からの意見が真理を突いているものも多いと思うので、真摯に受け止めて欲しい。

(2) 全日制の授業参観 (6 限)

14 時 25 分より、6 限目の主に実習の授業を中心に、授業参観を行った。

電気科棟の 1・2 階、機械科棟の 1 階の実習及び課題研究の授業を参観した。

授業を参観して、各委員から以下のご意見を頂いた。

委員)

実習風景を参観し、生徒が生き生きと取り組む姿を見ることができた。

課題研究では、生徒たちが自ら考えてものづくりをする授業で面白かった。

マリオの顔を作る課題も面白かったが、田辺工業のデロリアンなど大きなものもあると面白い。

委員)

昨年参観した教室での座学とは違い、生徒は生き生きとしていた。

授業で自分たちが考えたものを作るというのが良いと思った。

委員)

自分が在学していた頃に比べ、実習室が明るくなったように感じた。
電気工事士の資格取得を目指し、真剣に真面目に取り組んでいた。
古い機械が多いように感じた。経費もかかるが、ニーズに合った機械の導入も検討してあげて欲しい。

委員)

実習風景を見ると、やはり女子生徒が少ないと感じた。
アナログの機械が多いので、最新のものも導入してあげて欲しい。
少人数で実習を行っているので、丁寧に教えられている。
自主的に生徒が学習できているようであるが、3年生が1年生に教えるということなどもできないか。

委員)

確かに実習や課題研究には、生徒は生き生きと取り組んでいるように感じた。
実習と同様に座学にも関心が持てるように、教え方の工夫に期待したい。
大きな物を作ったり、自分たちが考えるものを作ろうとしたりする時、それらは更に子どもたちを生き生きさせると思うので、企業として応援できることがあれば支援したい。

委員)

学校を指定したふるさと納税や学校寄附はあるのか？

岡本事務長) ふるさと納税ではないが、学校を指定した寄附は、昨年20万円あった。
これについては、校長室前のトロフィを飾っておくケースの購入に使わせていただいた。

委員)

実習室内に、「安全第一」の看板などがあまり見られなかった。企業でもまず安全第一としている。
実習も同様だと思うので、「安全第一」の看板をもっと設置したほうがよい。服装をチェックするためにも姿見(鏡)を設置するなどした方がよい。

(3) 今後の活動予定について

議長より、今後の活動予定について、委員の皆さんに提案を求めた。
委員より、卒業後の就労先となる事業所では、外国人が多く就労されるようになってきているため、高校時代から外国人と関わり、人を尊ぶ意識を醸成したり、多文化を受け入れたりする機会となるような交流が必要ではないかという提案があった。

昨年度の第3回は、生徒会役員生徒と学校運営協議会委員の皆さんとの懇談を行った。会長・副会長と事務局で、その他の協議内容については、検討させていただくこととした。

閉会にあたり、学校長が閉会のご挨拶をさせていただくところでしたが、藤田校長が、インターハイの結果をうけて、知事表敬訪問のため県庁に向かったことから、以上で閉会することとした。